

審査 設計者

令和 7 年度 実施設計書

工事番号
(設計書コード) 37-FE320-05-50-01

建設工事名 令和7年災林道谷倉線（1号箇所）災害復旧工事

路線箇所名 建設工事箇所 藤枝市 岡部町玉取 地内

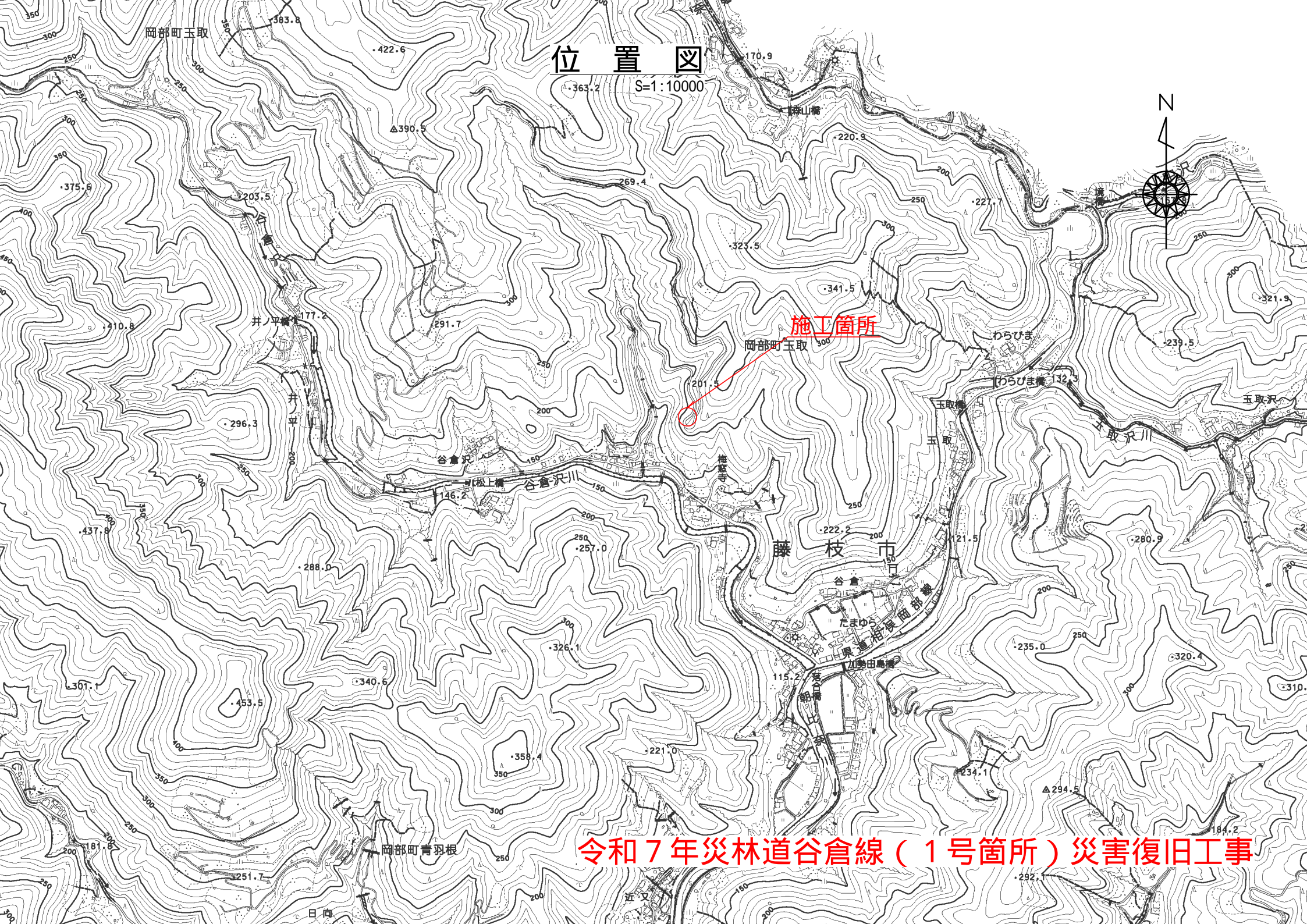
建設工事金額

工 期 令和 8 年 3 月 3 1 日限り 週休2日推進工事補正（月単位の週休2日（合計））

建設工事概要	復旧延長	29	m
	コンクリートブロック積工	4.6	m ²
	補強土壁工	122	m ²
	種子吹付工	17	m ²
	舗装復旧工	119.9	m ²
	防護柵工	27.4	m
	区画線工	42	m
	アスカーブ	16	m

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 1 0 月 基本単価 令和 7 年 1 0 月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔



位置図

S=1:10000

施工箇所

令和7年災林道谷倉線（1号箇所）災害復旧工事

請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
(1) 工事価格				
(2) ・工事原価				
(3) ・ ・ ・ 直接工事費	式			
(4) ・ ・ ・ 間接工事費				
(5) ・ ・ ・ ・ 共通仮設費				
(6) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（積上分）	式			
(7) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（率分）	%			
(8) ・ ・ ・ ・ 現場管理費	%			
(9) ・ 一般管理費等	%			
(1 0) ・ 枠外追加項目	式			
(1 1) 純工事費				
(1 2) 処分費				
工種区分名称				道路工事
地域特性区分				一般交通影響有り (2) - 2

請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
一般管理費等補正				補正しない

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 復旧延長	m	29			コメント行
- コンクリートブロック積工	m ²	4.6			コメント行 数量コードbro
- 補強土壁工	m ²	122			コメント行 数量コードex
- 種子吹付工	m ²	17			コメント行 数量コードL
- 舗装復旧工	m ²	119.9			コメント行 数量コードHO
- 防護柵工	m	27.4			コメント行 数量コードGLL
- 区画線工	m	42			コメント行 数量コードKL
- アスカーブ	m	16			コメント行 数量コードAC

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- 林道施設災害復旧	式	1			
-- 土工	式	1			
--- 掘削工	式	1			
---- バックホウ床掘 礫質土 障害なし	m ³	492			日当り作業量：111m ³ 第 1号表 数量コードCA2
---- 基面整正	m ²	74			SP 1号表 数量コードK
--- 盛土工	式	1			
---- 路床盛土	m ³	43			M0001 第 2号表 数量コードBR1
---- 路体盛土	m ³	55			M0002 第 3号表 数量コードBA1
---- 埋戻し	m ³	16			SP 2号表 数量コードBA3

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-- 擁壁工	式	1			
--- コンクリートブロック積(張)工	式	1			
---- 取合いブロック積復旧基礎工	m	0.5			M0012 第 4号表 数量コードbrk
---- 取合いブロック積復旧工	m ²	4.6			M0011 第 5号表 数量コードbro
-- 特殊盛土工	式	1			
--- 補強土壁工	式	1			
---- ジオテキスタイル壁面材組立・設置工	式	1			M0003 第 7号表
---- ジオテキスタイル敷設	式	1			M0004 第 8号表
---- ジオテキスタイルまき出し・敷均し、締固め工	式	1			M0009 第 9号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 小口止工	式	1			M0010
-- 法面保護工	式	1			第 10号表
--- 種子吹付工	式	1			
---- ・法面工（種子吹付工） 施工規模：100m ² 未満	m ²	17			第 11号表 数量コードL
-- 舗装工	式	1			
--- アスファルト舗装工	式	1			
---- 上層路盤（車道・路肩部）	m ²	119.9			SP 10号表 数量コードH0
---- 表層（車道・路肩部）	m ²	119.9			SP 11号表 数量コードH0
-- 防護柵工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- ガードレール	式	1			
---- ・防護柵設置工（ガードレール設置工） 土中建込 塗装品 Gr-C-4E 白	m	25			第 12号表 数量コードGLD
---- ガードレール復旧工（取合い）	m	2.4			M0013 数量コードGLC
-- 区画線工	式	1			
--- 区画線	式	1			
---- 区画線設置〔溶融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	42			第 17号表 数量コードKL
-- 道路付属施設工	式	1			
--- アスカーブ	式	1			
---- アスカーブ	m	16			SP 15号表 数量コードAC

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- - 構造物撤去工	式	1			
- - - 防護柵撤去工	式	1			
- - - - ・ガードレール撤去 コンクリート建込用 C-2B (旧C-2BS)	m	27.7			第 18号表 数量コードGLT
- - - 構造物取壊し工	式	1			
- - - - 既設ブロック積取壊し工	m ³	30.8			第 19号表 数量コードCT
- - - - 舗装版切断	m	33.8			SP 16号表 数量コードHS
- - - - アスファルト舗装版破碎・積込み	m ³	6			SP 17号表 数量コードHH
- - - 運搬処理工	式	1			
- - - - 残土運搬処分 大河原事業(株)川口残土処分場 島田市身成35	m ³	40			M0008 第 20号表 数量コードSD

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 無筋Co設置搬処分 (株)紅林建材 藤枝市高洲82-4	m ³	30.8			M0005 第 22号表 数量コードCT
---- As設置搬処分 静岡つばさアスコン 藤枝市岡部町岡部1439-2	m ³	6			M0006 第 24号表 数量コードHH
---- As汚泥運搬処分 マーセリサイクル(株)麻機工場 静岡市葵区北2242-129	式	1			M0007 第 26号表
直接工事費計					
工種区分 道路工事					
共通仮設費(率) (一般交通影響有り(2)-2)	式	1			
三軸圧縮試験	式	1			M0051 第 28号表
共通仮設費計					
純工事費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場管理費 (一般交通影響有り(2)-2)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等	式	1			
既設ガードレール運搬処分 樋口興業 藤枝市横内978-8 L=13.6km	式	1			M0050
枠外追加項目	式	1			第 29号表
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

バックホウ床掘 礫質土 障害なし					
金 円 100 m3 当り			第 1号表 日当り作業量:111m3		
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
バックホウ運転〔クローラ型〕 後方超小旋回・超低騒音型 山積0.45 (平積0.35m3) 排出ガス対策型 (2014年規制)	日				
計					
単価	m3				

1, #等:諸経費等対象額

71900C0A

バックホウ規格=クローラ型平積0.45m3 (林道工事の場合), 土質区分=礫質土, 現場条件=障害なし

M O O O 1					
路床盛土					
第 2号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
埋戻し		m3	100		SP 2号表
路床材 再生盛土材		m3	126		
計					

M O O O 2

路体盛土

第 3号表

金	円	100 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し		m3	100			SP 2号表
計						
				</		

MOO12		取合いブロック積復旧基礎工				第 4号表	
金	円	10 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
現場打基礎コンクリート		m3	1.8			SP 3号表	
計							

MOO11		取合いブロック積復旧工				第 5号表	
金 円		10 m2 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
コンクリートブロック積工		m2	10			第 6号表	
胴込・裏込材 (碎石)		m3	1			SP 4号表	
計							

コンクリートブロック積工					
第 6号表					
金 円 1 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
コンクリートブロック積工 屋間単価 制約無 機労	m2	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m2				
積ブロック 控35cm	m2	1			
生コンクリート（高炉） 18-8-25(20)-BB W/C 60%以下	m3	0.5			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等:諸経費等対象額

71900C0A

コンクリート積ブロックの規格=滑面、 時間的制約=無し、 夜間作業の有無=無し、 練積・空積の区分=練積、 裏込コンクリートの有無=有、 胴込・裏込コンクリート使用量=0.42m3/m2、 生コンクリートの規格=18-8-25（高炉B） W/C60%以下

M O O O 3 ジオテキスタイル壁面材組立・設置工					
第 7号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ジオテキスタイル壁面材組立・設置	m ²	122			SP 5号表 数量コードex
壁面材(エキスパンドメタル、亜鉛メッキ) 高0.6、長2.0、45.5×203.2×4.5×5.0	組	39			数量コードEX2
壁面材(エキスパンドメタル、亜鉛メッキ) 高0.6、長1.0、45.5×203.2×4.5×5.0	組	125			数量コードEX1
連結材(高密度ポリエチレン樹脂) t5.5×W45×L1000(mm)	本	17			数量コードHD
緊張杭 D10×300×60	本	400			数量コードK1
固定杭 D10×300×60	本	328			数量コードK2
側面板 【見積】	組	7			
計					

MOOO4						ジオテキスタイル敷設						第 8号表					
金						円						1 式 当り					
積 算 項 目						単位	数量		単 価		金 額		摘 要				
ジオテキスタイル敷設						m2	555.3						SP 6号表 数量コードre				
補強材 テンサー RE-40						m2	348.3						数量コードRE4				
補強材 テンサー RE-55						m2	99						数量コードRE5				
壁面強化材 テンサー RE-1						m2	108						数量コードRE1				
計																	

M O O O 9 ジオテキスタイルまき出し・敷均し・締固め工					
第 9号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
まき出し・敷均し、締固め（ジオテキスタイル）	m 3	4 1 5			SP 7号表 数量コードBAH
水平排水材 長繊維系不織布（スパンボンド不織布）厚さ 3mm	m 2	9 1. 3			数量コードH1
縦排水材 水平・背面排水材（板状） 10×300 全透水型	m	2 8. 4			数量コードH2
吸出し防止材 長繊維系不織布（スパンボンド不織布）厚さ 3mm	m 2	8 1. 6			数量コードH3
再生クラッシャーラン RC-40 再生基礎裏込材	m 3	4 9			数量コードHK1
路床材 再生盛土材	m 3	8 3			数量コードBRH
計					

MOO10

小口止工

第 10号表

金 円		1 式 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
現場打小口止コンクリート	m3	0.7			SP 8号表
型枠	m2	1.5			SP 9号表
計					

・法面工（種子吹付工） 施工規模：100m2未満					
第 11号表					
金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
法面工（植生工） 種子散布工	m2	100			1 市場単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔加算率：S〕 100m2未満	%				
補正後市場単価	m2	100			2
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.8m3（平積0.6m3） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
計（合計金額対象外を除く）					

1, #等：諸経費等対象額

71900C0A

施工規模＝100m2未満、 時間制約を受ける場合の補正＝無、 遠隔地割増＝無、 法面・土質区分＝盛土法面（礫質土）：土羽打含む、 排出ガス対策型の使用＝排出ガス対策型（第2次基準値）

第 11号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	m2				

・防護柵設置工（ガードレール設置工）
土中建込 塗装品 Gr-C-4E 白

第 12号表

金 円 1 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガードレール設置工（土中建込） Gr-C-4E（塗装品）	m	1			1 市場単価（基本額 [合計金額対象外]
[補正係数：週休2日補正]	X				
[加算率：S] 施工規模：21m以上50m未満	%				
補正後市場単価	m	1			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等:諸経費等対象額

71900C0A

施工区分=土中建込, 規格・仕様=塗装品 Gr-C-4E, 施工規模による加算=21m以上50m未満 (A条件=1の時、選択可能), 時間的制約を受ける場合の補正=無, 夜間作業の補正=無, 曲線部補正=無, 景観配慮製品=白

MOO13		ガードレール復旧工 (取合い)				第 13号表	
金 円		10 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
・防護柵設置工 (ガードレール設置工) Co建込 塗装品 Gr-C-2B 白		m	10			第 14号表	
防護柵基礎		m	10			第 15号表	T0001
計							

・防護柵設置工（ガードレール設置工）
Co建込 塗装品 Gr-C-2B 白

第 14号表

金 円 1 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
ガードレール設置工（Co建込） Gr-C-2B（塗装品）		m	1		
[補正係数：週休2日補正]		X			
[加算率：S] 施工規模：21m未満		%			
補正後市場単価		m	1		
計（合計金額対象外は除く）					

1
市場単価（基本額 [合計金額対象外]

1, #等:諸経費等対象額

71900C0A

施工区分=Co建込, 規格・仕様=塗装品 Gr-C-2B, 施工規模による加算=21m未満, 時間的制約を受ける場合の補正=無, 夜間作業の補正=無, 曲線部補正=無, 景観配慮製品=白

T O O O 1 防護柵基礎					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート	m 3	2. 5			SP 12号表
型枠	m 2	10. 4			SP 13号表
・鉄筋工 規格・径：SD345 D13 作業：一般作業 施工規模：10t未満	t	0. 015			第 16号表
箱抜き	m	2			SP 14号表
計					
単価	m				

・鉄筋工 規格・径:SD345 D13 作業:一般作業 施工規模:10t未満					
第 16号表					
金 円 1 t 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
異形棒鋼 SD345 D13	t	1.03			
鉄筋工(鉄筋加工・組立) 一般構造物	t	1			1 市場単価(基本額) [合計金額対象外]
[補正係数:週休2日補正]	X				
[加算率:S] 10t未満	%				
補正後市場単価	t	1			
計(合計金額対象外を除く)					

1, #等:諸経費等対象額

71900C0A

規格区分=SD345 D13, 作業区分=一般作業、一般構造物(切梁無し), 施工規模=10t未満, 時間制約を受ける場合の補正=無, 夜間作業の補正=無, 太径鉄筋量=10%未満

区画線設置 [溶融式手動] 実線 15cm
塗布厚1.5mm 白

第 17号表

金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線工 (区画線設置工 [溶融式 (手動)]) 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
[補正係数: 週休2日補正]	X				
補正後標準単価	m				
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	40			2
諸雑費	%				

1, #等: 諸経費等対象額

71900C0A

夜間作業の有無=無し, 規格・仕様区分=実線 15cm, 時間的制約=無し, 塗布厚=1.5mm, 排水性舗装に施工する場合の補正=無し, 未供用区間に施工する場合の補正=無し, 塗料区分=白, プライマー規格=アスファルト舗装

第 17号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

・ガードレール撤去 コンクリート建込用 C-2B (旧C-2BS)					
第 18号表					
金 円 1 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ガードレール撤去工 (C _o 建込用) Gr-C-2B	m	1			1 市場単価 (基本額) [合計金額対象外]
[補正係数: 週休2日補正]	X				
補正後市場単価	m	1			
計 (合計金額対象外を除く)					

1, #等: 諸経費等対象額

71900C0A

構造物とりこわし

第 19号表

金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
構造物とりこわし工（無筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労		m3	1		
〔補正係数：週休2日補正〕		X			
補正後標準単価		m3	1		
計（合計金額対象外は除く）					

標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕

1

1, #等:諸経費等対象額

71900C0A

構造物区分=無筋構造物, 工法区分=機械施工, 時間の制約=無し, 作業時間=昼間, 低騒音・低振動対策=不要

M O O O 8					
残土運搬処分 大河原事業（株）川口残土処分場 島田市身成35					
第 20号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬 DT:10t 土質:砂・砂質土・粘性土・礫質土 運搬距離:36.8km	m3	100			第 21号表
残土処分費 第2種建設発生土 変化率 L=1.2	m3	120			
計					

ダンプトラック運搬
DT:10t 土質:砂・砂質土・粘性土・礫質土 運搬距離:36.8km

第 21号表

金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック 運転 10t積 損料割増しなし 普通	時間				
計					
単価	m3				

1, #等:諸経費等対象額
71900C0A

ダンプ車種=10t, 土質区分=砂・砂質土・粘性土・礫質土, 積込機械=バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3), 係数=4.8, 片道運搬距離=36.8km

MO005					
無筋Co殻運搬処分 (株)紅林建材 藤枝市高洲82-4					
第 22号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬 DT:10t 土質:アスファルト・コンクリート塊 運搬距離:23km	m3	100			第 23号表
無筋Co殻処分費	m3	100			
計					

ダンプトラック運搬 DT:10t 土質:アスファルト・コンクリート塊 運搬距離:23km					
第 23号表					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック 運転 10t積 損料割増しなし 普通	時間				
計					
単価	m3				

1, #等:諸経費等対象額

71900C0A

ダンプ車種=10t, 土質区分=アスファルト・コンクリート塊, 積込機械=バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3), 係数=4.8, 片道運搬距離=23km

M O O O 6					
As殻運搬処分 静岡つばさアスコン 藤枝市岡部町岡部1439-2					
第 24号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬 DT:10t 土質:アスファルト・コンクリート塊 運搬距離:13.8km	m3	100			第 25号表
As殻処分費	m3	100			
計					

ダンプトラック運搬 DT:10t 土質:アスファルト・コンクリート塊 運搬距離:13.8km					
第 25号表					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック 運転 10t積 損料割増しなし 普通	時間				
計					
単価	m3				

1, #等:諸経費等対象額

71900C0A

ダンプ車種=10t, 土質区分=アスファルト・コンクリート塊, 積込機械=バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3), 係数=4.8, 片道運搬距離=13.8km

M O O O 7					
As汚泥運搬処分 マーセリサイクル（株）麻機工場 静岡市葵区北2242-129					
第 26号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬（D I D区間なし） 運搬距離：28.4km以下	台	1			第 27号表
As汚泥処分費	m3	0.04			
計					

トラック運搬 (DID区間なし) 運搬距離: 28.4 km以下					
第 27号表					
金	円	1 台 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 2 t 積	時間				
諸 雑 費	式	1			
計					

MOO51					
三軸圧縮試験					
第 28号表					
金 円 1 回 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
中型三軸圧縮試験 圧密排水試験 径150mm 1試料につき3供試体		試料	1		
計					

MOO50

既設ガードレール運搬処分
樋口興業 藤枝市横内978-8 L=13.6km

第 29号表

金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
現場発生品及び支給品運搬		t	0.45			SP 18号表 数量コードG
【控除】鉄スクラップ ヘビーH3		t	0.45			数量コードG
計						

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
基面整正	基面整正＝基面整正 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 1号表
埋戻し	施工方法＝最大埋戻幅4 m以上 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 2号表
現場打基礎コンクリート	生コンクリート＝コンクリート規格 選択，基礎碎石の有無＝有り，養生工の種類＝一般養生・特殊養生（練炭） &コンクリート規格＝18-8-40-BB W/C 60％以下， 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 3号表
胴込・裏込材（碎石）	ブロックの種類＝間知・平・連節・緑化ブロック，胴込・裏込材＝胴込・裏込材 選択 &胴込・裏込材規格＝再生クラッシャーラン RC-40， 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 4号表
ジオテキスタイル壁面材組立・設置	ジオテキスタイル壁面材組立・設置＝ジオテキスタイル壁面材組立・設置 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 5号表
ジオテキスタイル敷設	ジオテキスタイル敷設＝ジオテキスタイル敷設 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 6号表
まき出し・敷均し，締固め（ジオテキスタイル）	まき出し・敷均し，締固め＝まき出し・敷均し，締固め 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 7号表
現場打小口止コンクリート	生コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生 &コンクリート規格＝18-8-40-BB W/C 60％以下， 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 8号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝鉄筋・無筋構造物 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 9号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝粒度調整碎石 選択，施工区分＝１層施工 ＊全仕上り厚＝９０ｍｍ，&路盤材規格＝粒度調整碎石（Ｍ－３０）， 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 10号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝３．０ｍ超，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（１３） Ａ配合，＊１層当り平均仕上り厚＝４０ｍｍ，&瀝青材料規格＝プライムコート ＰＫ－３， 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 11号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内 小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝１８－８－２５（２０）－ＢＢ Ｗ／Ｃ ６０％以下， 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 12号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝小型構造物 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 13号表
箱抜き	型枠の規格＝Ｄ１００ ＊型枠（各種）， 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 14号表
アスカブ	断面積＝１９５ｃｍ ² 以上２１５ｃｍ ² 未満，材料＝アスコン規格 選択 &アスコン規格＝再生細粒度アスコン（１３） Ａ配合， 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 15号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝１５ｃｍ以下 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 16号表
アスファルト舗装版破碎・積み込み	アスファルト舗装版破碎・積み込み＝アスファルト舗装版破碎・積み込み 職種区分（既定値：普通作業員）＝普通作業員	SP 17号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
現場発生品及び支給品運搬	トラック機種＝トラック〔クレーン装置付〕 ベーストラック2 t 積、吊能力2. 9 t, D I D 区間の有無＝無し, 片道運搬距離 (k m) ＝ 1 4. 0 k m 以下	SP 1 8 号表

測点 中間点 距離(m)			CA2 床掘			BA1 路体盛土			BA2 補強盛土敷き均し		
コ メ ン ト			数 量	平均値	立積 (O 2)	数 量	平均値	立積 (O 2)	数 量	平均値	立積 (O 2)
0	-2.60	0.00	0.00			0.00			0.00		
0	+0.30	2.90	15.50	7.800	22.600	9.70	4.900	14.200	0.00		
0	+0.30	0.00	15.50	15.500		1.00	5.400		11.50	5.800	
0	+2.30	2.00	19.80	17.700	35.400	1.90	1.500	3.000	14.40	13.000	26.000
0	+7.00	4.70	24.30	22.100	103.900	2.10	2.000	9.400	19.20	16.800	79.000
0	+9.00	2.00	25.80	25.100	50.200	2.00	2.100	4.200	20.00	19.600	39.200
0	+12.50	3.50	23.50	24.700	86.500	1.60	1.800	6.300	18.10	19.100	66.900
0	+16.40	3.90	18.00	20.800	81.100	1.40	1.500	5.900	13.70	15.900	62.000
1	+0.50	4.10	10.20	14.100	57.800	1.00	1.200	4.900	7.20	10.500	43.100
1	+4.30	3.80	8.30	9.300	35.300	0.30	0.700	2.700	4.20	5.700	21.700
1	+4.30	0.00	8.30	8.300		4.50	2.400		0.00	2.100	
1	+6.10	1.80	0.00	4.200	7.600	0.00	2.300	4.100	0.00		
合 計	28.70		(CA2)		480.400	(BA1)		54.700	(BA2)		337.900
曲 率 更 正					11.53			0.23			11.33
計					491.900			54.900			349.200

				数量計算表							測点間距離 20 m		
測点 中間点 距離(m) コメント				BA3 擁壁前面埋戻し			L 植生工			BR1 路床材 (埋戻し)			
				数 量	平均値	立積 (0 2)	数 量	平均値	面積 (0 3)	数 量	平均値	立積 (0 2)	
0	-2.60	0.00		0.70			0.00			0.00			
0	+0.30	2.90		0.70	0.700	2.000	0.00			3.90	2.000	5.800	
0	+0.30	0.00		0.40	0.600		0.60	0.300		1.30	2.600		
0	+2.30	2.00		0.60	0.500	1.000	0.70	0.700	1.400	1.60	1.500	3.000	
0	+7.00	4.70		0.70	0.700	3.300	0.80	0.800	3.800	1.70	1.700	8.000	
0	+9.00	2.00		0.40	0.600	1.200	0.60	0.700	1.400	1.60	1.700	3.400	
0	+12.50	3.50		0.50	0.500	1.800	0.70	0.700	2.500	1.50	1.600	5.600	
0	+16.40	3.90		0.60	0.600	2.300	0.70	0.700	2.700	1.40	1.500	5.900	
1	+0.50	4.10		0.20	0.400	1.600	0.50	0.600	2.500	1.30	1.400	5.700	
1	+4.30	3.80		0.60	0.400	1.500	0.80	0.700	2.700	0.70	1.000	3.800	
1	+4.30	0.00		0.00	0.300		0.00	0.400		2.70	1.700		
1	+6.10	1.80		0.00			0.00			0.00	1.400	2.500	
合 計 28.70				(BA3)				(L)	17.000	(BR1)			43.700
曲 率 更 正									0				-0.32
計									17.000				43.400

土工				数量計算表			測点間距離 20 m		
測点 中間点 距離(m)				コメント		BR2 路床材 (補強土)			
				数量		平均値		立積 (O2)	
0	-2.60	0.00		0.00					
0	+0.30	2.90		0.00					
0	+0.30	0.00		2.70	1.400				
0	+2.30	2.00		2.70	2.700	5.400			
0	+7.00	4.70		3.00	2.900	13.600			
0	+9.00	2.00		3.10	3.100	6.200			
0	+12.50	3.50		3.10	3.100	10.900			
0	+16.40	3.90		2.60	2.900	11.300			
1	+0.50	4.10		2.00	2.300	9.400			
1	+4.30	3.80		2.00	2.000	7.600			
1	+4.30	0.00		0.00	1.000				
1	+6.10	1.80		0.00					
合計				28.70		(BR2)		64.400	
曲率更正								1.61	
計								66.000	

曲率更正計算表									
測点 中間点 距離(m)			(CA2 · 床掘)			測点間距離 20 m			
			数 量	平均値	立積 (O 2)	R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
	0	-2.60	0.00			0.00	0.0		
	0	+0.30	0.00	15.50		0.00	0.0		
	0	+0.30	0.00	15.50		0.00	0.0		
	0	+2.30	0.00	19.80		0.00	0.0		
開始	0	+7.00	0.00	24.30		0.00	0.0		
	0	+9.00	0.00	25.80		0.00	0.0		
	0	+12.50	0.00	23.50		0.00	0.0		
	0	+16.40	0.00	18.00		12.00	1.4		
終了	1	+0.50	4.10	10.20	14.100	57.800	12.00	1.5	0.121
	1	+4.30	3.80	8.30	9.300	35.300	12.00	1.3	0.117
	1	+4.30	0.00	8.30	8.300		12.00	1.3	0.108
	1	+6.10	1.80	0.00	4.200	7.600	12.00	0.0	0.054
曲 率 更 正 計 (9.70)			(100.700)					(CA2)	11.53

土工等			測点間距離 20 m							
曲率更正計算表										
測点	中間点	距離(m)	(BA1 ・ 路体盛土)			R (m)	E (m)	E ／ R	A L E ／ R	
			数 量	平均値	立積 (O 2)					
	0	-2.60	0.00			0.00	0.0			
	0	+0.30	0.00	9.70		0.00	0.0			
	0	+0.30	0.00	1.00		0.00	0.0			
	0	+2.30	0.00	1.90		0.00	0.0			
開始	0	+7.00	0.00	2.10		0.00	0.0			
	0	+9.00	0.00	2.00		0.00	0.0			
	0	+12.50	0.00	1.60		0.00	0.0			
	0	+16.40	0.00	1.40		12.00	-0.4			
終了	1	+0.50	4.10	1.00	1.200	4.900	12.00	0.2	-0.008	-0.04
	1	+4.30	3.80	0.30	0.700	2.700	12.00	-0.2		
	1	+4.30	0.00	4.50	2.400		12.00	1.6	0.058	
	1	+6.10	1.80	0.00	2.300	4.100	12.00	0.0	0.067	0.27
曲 率 更 正 計 (9.70)			(11.700)					(BA1)	0.23	

土工等			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	(BA2 ・ 補強盛土敷き均し)			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均値	立積 (O 2)				
0	-2.60	0.00	0.00			0.00	0.0		
0	+0.30	0.00	0.00			0.00	0.0		
0	+0.30	0.00	11.50			0.00	0.0		
0	+2.30	0.00	14.40			0.00	0.0		
開始	0	+7.00	0.00			0.00	0.0		
	0	+9.00	0.00			0.00	0.0		
	0	+12.50	0.00			0.00	0.0		
	0	+16.40	0.00			12.00	2.0		
1	+0.50	4.10	7.20	10.500	43.100	12.00	2.3	0.179	7.71
1	+4.30	3.80	4.20	5.700	21.700	12.00	1.7	0.167	3.62
1	+4.30	0.00	0.00	2.100		12.00	0.0	0.071	
終了	1	+6.10	0.00			12.00	0.0		
曲 率 更 正 計 (9.70)			(64.800)					(BA2)	11.33

土工等			測点間距離 20 m					
曲率更正計算表								
測点	中間点	距離(m)	(BA3 ・ 擁壁前面埋戻し)			R (m)	E (m)	E / R
			数 量	平均値	立積 (O 2)			A L E / R
0	-2.60	0.00	0.70			0.00	0.0	
0	+0.30	0.00	0.70			0.00	0.0	
0	+0.30	0.00	0.40			0.00	0.0	
0	+2.30	0.00	0.60			0.00	0.0	
開始	0	+7.00	0.70			0.00	0.0	
	0	+9.00	0.40			0.00	0.0	
	0	+12.50	0.50			0.00	0.0	
	0	+16.40	0.60			12.00	4.0	
1	+0.50	4.10	0.20	0.400	1.600	12.00	3.9	0.329
1	+4.30	3.80	0.60	0.400	1.500	12.00	3.2	0.296
1	+4.30	0.00	0.00	0.300		12.00	0.0	0.133
終了	1	+6.10	0.00			12.00	0.0	
曲 率 更 正 計 (9.70)			(3.100)					(BA3)
								0.97

土工等			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	(BR1 ・ 路床材 (埋戻し))			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均値	立積 (O 2)				
	0	-2.60	0.00			0.00	0.0		
	0	+0.30	0.00			0.00	0.0		
	0	+0.30	0.00			0.00	0.0		
	0	+2.30	0.00			0.00	0.0		
開始	0	+7.00	0.00			0.00	0.0		
	0	+9.00	0.00			0.00	0.0		
	0	+12.50	0.00			0.00	0.0		
	0	+16.40	0.00			12.00	-0.9		
	1	+0.50	4.10	1.30	1.400	5.700	12.00	-0.2	-0.046
	1	+4.30	3.80	0.70	1.000	3.800	12.00	-0.5	-0.029
	1	+4.30	0.00	2.70	1.700		12.00	0.5	
終了	1	+6.10	1.80	0.00	1.400	2.500	12.00	0.0	0.021
曲 率 更 正 計 (9.70)			(12.000)					(BR1)	-0.32

土工等

測点間距離20 m

曲率更正計算表

測点	中間点	距離(m)	(BR2 ・ 路床材 (補強土))			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R	
			数 量	平均値	立積 (O 2)					
	0	-2.60	0.00			0.00	0.0			
	0	+0.30	0.00			0.00	0.0			
	0	+0.30	0.00			0.00	0.0			
	0	+2.30	0.00			0.00	0.0			
開始	0	+7.00	0.00			0.00	0.0			
	0	+9.00	0.00			0.00	0.0			
	0	+12.50	0.00			0.00	0.0			
	0	+16.40	0.00			12.00	1.1			
	1	+0.50	4.10	2.00	2.300	9.400	12.00	1.3	0.100	0.94
	1	+4.30	3.80	2.00	2.000	7.600	12.00	0.8	0.088	0.67
	1	+4.30	0.00	0.00	1.000		12.00	0.0	0.033	
終了	1	+6.10	1.80	0.00			12.00	0.0		
曲 率 更 正 計 (9.70)			(17.000)					(BR2)	1.61	

土工（補正）			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
床掘（逸飛率補正）	CA I （0 2）	$= CA2 * 0.95$ $= 491.9 * 0.95$ $= 467.300$		
埋戻し（使用可土量）	UM （0 2）	$= CA1 * 0.9$ $= 467.3 * 0.9$ $= 420.570$		
埋戻材（使用土量）	UH （0 2）	$= BA1 + BA2 + BA3 - 39.2$ $= 54.9 + 349.2 + 15.7 - 39.2$ $= 380.600$		
処分土量	SD （0 2）	$= UM - UH$ $= 420.57 - 380.6$ $= 40.000$		
基礎碎石	HK I （0 2）	$= 39.2 * 1.26$ $= 49.400$		

土工（補正）			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
補強盛土総量	B A H （ 0 2 ）	<div>= BA2 + BR2</div> <div>= 349.2 + 66</div> <div>= 415.200</div> <div>.....</div>			
基面整正	K （ 0 2 ）	<div>= 74.1</div> <div>= 74.100</div> <div>.....</div>			
補強土壁路床材使用料	B R H （ 0 2 ）	<div>= BR2 * 1.26</div> <div>= 66 * 1.26</div> <div>= 83.200</div>			

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
無筋取壊し	C T (0 3)	= 30.82 = 30.800	
舗装版切断	H S (0 3)	= 1.67 + 3.86 + 2.53 + 5.17 + 2.01 + 3.50 + 3.96 + 3.69 + 3.72 + 1.77 + 1.87 = 33.750	
舗装版破碎	H H (0 3)	= 119.88 * 0.05 = 5.990	
スクラップ	G (0 4)	= 27.7 * 16.4 * 0.001 = 0.450	

付帯工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
舗装工	H O (0 3)	= 119.88	
		= 119.880	
		
区画線	K L (0 2)	= 12.4 + 29.1	
		= 41.500	
		
アスカーブ	A C (0 2)	= 15.5	
		= 15.500	

補強土壁工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
壁面材設置面積	e x (0 2)	= 121.8	
		= 121.800	
		
壁面材2000	E X 2 (0 2)	= 39	
		= 39.000	
		
壁面材1000	E X 1 (0 2)	= 125	
		= 125.000	
		
連結材	H D (0 2)	= 17	
		= 17.000	
		
緊張杭	K 1 (0 3)	= 400	
		= 400.000	
		
固定杭	K 2 (0 2)	= 328	
		= 328.000	
		
水平排水材	H 1 (0 3)	= 91.3	

補強土壁工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
水平排水材	H 1 (0 3)	=	91.300	
縦排水材	H 2 (0 3)	=	28.4		
		=	28.400	
吸出し防止材	H 3 (0 3)	=	81.6		
		=	81.600	
補強材RE-40	R E 4 (0 3)	=	348.3		
		=	348.300	
補強材RE-55	R E 5 (0 3)	=	99		
		=	99.000	
壁面強化材RE-1	R E 1 (0 3)	=	108		
		=	108.000	
ジオテキ敷設面積	r e (0 3)	=	RE1 + RE4 + RE5		
		=	108 + 348.3 + 99		

(37-FE320-05-50-01-30-00)

産業振興部農林基盤整備課








数量調整表		
名 称	コード	計 算 式
ジオテキ敷設面積	r e (03)	= 555.300

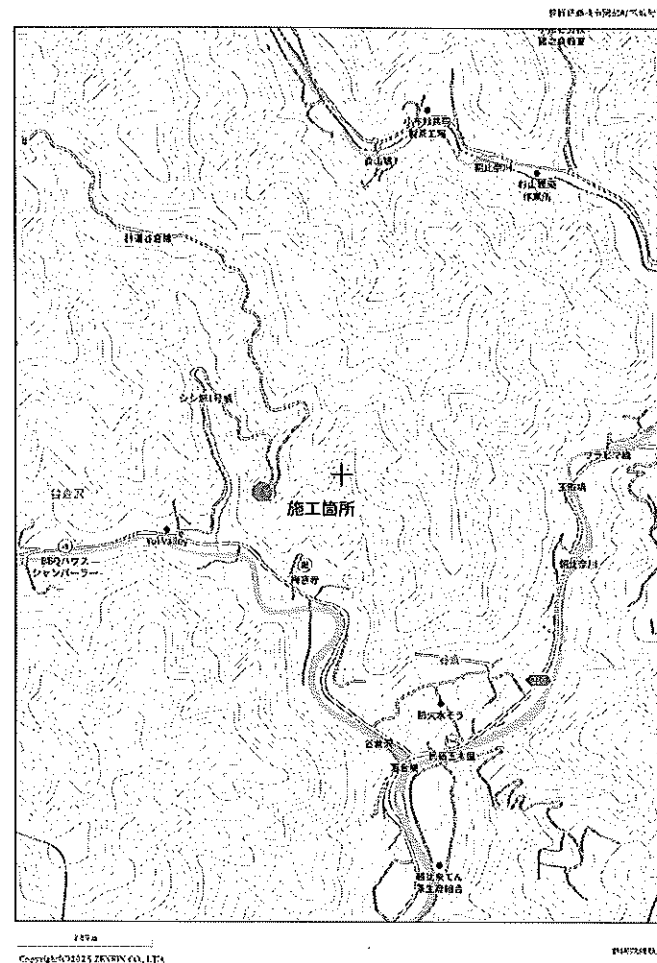
71900C0A

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
ブロック積復旧工	b r o (0 3)	= 4.6 = 4.600	
ブロック積基礎工	b r k (0 3)	= 0.5 = 0.500	

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
ガードレール撤去	G L T (0 3)	<div>= 2.4 + 0.3 + 25.0</div> <div>= 27.700</div> <div>.....</div>	
ガードレールco建込	G L C (0 3)	<div>= 2.4</div> <div>= 2.400</div> <div>.....</div>	
ガードレール土中建込	G L D (0 3)	<div>= 25</div> <div>= 25.000</div> <div>.....</div>	
ガードレール総延長	G L L (0 3)	<div>= GLC + GLD</div> <div>= 2.4 + 25</div> <div>= 27.400</div>	

地下埋設物調書 (令和7年災林道谷倉線(1号箇所)災害復旧工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	なし				R7.10.20 上水道課 近藤
ガス管	なし				R7.10.21 東海ガス 紅林
大井川広域水道企業団	地下埋設物調書により無いことを確認した				
大井川土地改良区	地下埋設物調書により無いことを確認した				
N T T ケーブル	なし				R7.10.21 NDS(株) 島田保守 岡村
中部電力ケーブル	なし				R7.10.20 中部電力 静岡送電G
下水道管	なし				R7.10.21 下水道課 遠藤



個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。
なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が 28.5% 以上の場合を４週８休以上とする。
- (4) 週休２日 対象期間において、４週８休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休２日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、１週間に２日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が 28.5% に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が 28.5% 以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日